

各 位

上場会社名 FCM株式会社
 代表者 代表取締役社長 市居 律雄
 (コード番号 5758)
 問合せ先責任者 取締役管理部長 丸山 仁
 (TEL 06-6975-1324)
 親会社 古河電気工業株式会社
 代表取締役 小林 敬一
 (コード番号 5801)

平成30年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異

平成29年5月9日に公表した平成30年3月期第2四半期(平成29年4月1日～平成29年9月30日)の業績予想における予想値と比較して、本日公表の決算において下記のとおり大幅な差異が生じたのでお知らせいたします。

記

●業績予想数値と実績値との差異について

平成 30 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,771	99	95	60	35.22
今回修正予想(B)	11,119	161	162	108	63.84
増減額(B-A)	1,348	62	67	48	
増減率(%)	13.8	63.6	71.5	81.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	8,632	101	98	64	38.02

差異の理由

国内銅建値の上昇の影響を受けて、電線用導体などの伸線加工を主とする電気機能線材事業では売上高が計画を上回ることとなりました。電子部品のめっき加工を主とする電子機能材事業では、新設の加工装置の稼働が安定し始め、計画を一部前倒しで消化している状況です。第1四半期においては、ほぼ計画通りに進捗していましたが、第2四半期に入り両事業とも当初の計画を上回る推移となりました。

その結果、平成29年5月9日に公表した業績予想を上回りましたので、開示を行うものであります。

なお、事業年度を通じては計画通りに進捗する見込みであるため、平成30年3月期の業績予想および配当予想について変更はありません。

以 上